

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	凍結路面時のストレッチャーの車内収容について
3. 体験した事例の中心的要素	普段の活動どおり、隊員2名の補助を付け万全の状態 で車内収容を実施しようとしたが、路面の凍結に気づかず足元が滑り力が入らない状態となった。自身も転倒しそうになり、何よりストレッチャーが倒れる危険もあった。
4. 体験した事例の原因・理由	冬期の早朝で気温も低く、足元も暗い状況であったが、凍結している可能性があることを念頭におき活動していればこのような事態は起きなかったはずである。環境実態を軽視していたことが原因であると思われる。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。
-------------------------	---------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成27年2月1日 午前4時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：マンションの出入口付近(タイル)
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。 回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	軽傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	墜落・転落、転倒
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	車両への収容
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	これまでに1, 2回程度体験している。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[39]歳、勤続年数[15]年、現場経験年数[14] 年、階級[消防司令補] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[27]歳、勤続年数[4]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[23]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	Aが	ストレッチャー足側を保持し車内収容	
経過2	Bが	ストレッチャー運転席側を保持し収容補助	
経過3	Cが	ストレッチャー助手席側を保持し収容の補助	
経過4	Aが	凍結路面で足元が滑り転倒しかけた	
経過5	BとCが	ストレッチャーを保持	
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

他隊(員)との連携活動がうまくいった。 その他 : 補助者2名がストレッチャーをしっかり保持してくれた。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

夜間であったことから凍結した路面に気づかず、力を入れた瞬間に足元が滑ってしまった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

--

○装備・資機材の対策について

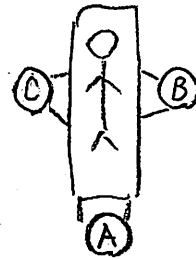
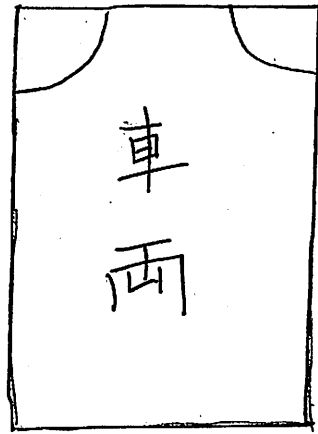
--

○活動環境の対策について

--

○指揮・情報伝達の対策について

--



路面が凍結していたため、
Aが足元を滑らせ、転倒しそうになった。